

2019

12月

sasai 築波

発行/佐佐井株式会社

北九州市小倉南区上曽根新町 2-25

☎093-472-1335

FAX 093-472-1790

http://www.bf331.com

完全レジレス

カスミ始動 バーコード撮影 スマホで決済

イオン系の食品スーパー、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス (USMH) は、スマートフォンで決済を完結させられる「完全レジレス決済」を本格導入する。第一弾として導入するのは 21 日にカスミ本社内にオープンする「カスミラボ」(茨城県つくば市) と現金を全く扱わない完全キャッシュレスの「カスミ筑波大学店」(同) の 2 店。富士通と共同で開発した完全レジレス決済システムを活用する。利用するには、事前にスマホで無料アプリの「U.S.M.H 公式モバイルアプリ」をダウンロードし、クレジットカード情報を登録しておく必要がある。

完全レジレス決済は店内で買いたい商品のバーコードを読み取り、店を出る前にスマホ上で決済を済ませる仕組み。

店舗入店前に「チェックイン」、決済後に「チェックアウト」の操作が必要となっており、チェックアウト時に表示される QR コードを出入り口に設置した機器にかざして店を出る。

人手不足が深刻になるなか、人手を要する分野は増えている。USMH はレジレス決済の導入で浮いた人手をこれらの重点分野に振り分け、集客につなげる施設を強化する考えだ。

—日経 MJ2019.10.21—

ゴディバのお店でお食事を

ゴディバジャパン (東京・港) は、2020 年冬に新業態のカフェを開く。チョコレートだけでなく、一日を通して料理を提供するのが特徴。同社のチョコはバレンタインや誕生日などのプレゼント用の購入が多く、カフェを通じてオンラインや客層の拡大につなげる。

ジェローム・シュシャン社長は「(他人に贈る) ギフト用だけでなく自分(のための利用)でもゴディバの世界観を体験できるようにする」と語った。

現在、東京都や京都府などで 3 店舗を展開するコンセプトストア「アトリエ・ドゥ・ゴディバ」は 15 店舗に増やすと発表した。同ストアは 17 年に西武池袋本店 (東京・豊島) に 1 店舗目をオープンし、シェフが店頭のキッチンで商品を仕上げるのが特徴。生ショコラなど、チョコレートを中心に提供してきた。

思わず手に取る少量・使い切り

小型スーパー「まいばすけっと」

小型食品スーパー「まいばすけっと」は少量で使い切りサイズの商品を拡充する。イオンのプライベートブランド (PB) を開発する「イオントップバリュ」(千葉市) と協力。おでんやオーガニック (有機) 栽培の冷凍野菜などの新商品を売り出した。このほど販売を始めた商品が「おでんのちょい足し具材」だ。一般的な食品スーパーより小さいサイズで、一度に使い切ることができるのが特徴だ。大根や厚揚げ、ちくわぶなどは 2 個入り。ゴボウ巻きは 4 本入りで発売している。価格はいずれも税別 98 円。また、9 月中旬には「グリーンアイオーガニック洋風野菜ミックス」を売り出した。規格を小型店用に改良。内容量を 300 ㍓から 200 ㍓に減らした。10 月以降にはナッツやおつまみでも少量サイズを順次出していく計画。

まいばすけっとはコンビニサイズの店に食品スーパーの品ぞろえを凝縮した業態が特徴で、19 年 2 月期の業績は増収増益だった。今後も積極出店とともに、既存店の改装などを進める。

—日経 MJ2019.10.9—

配達弁当もSDGs対応

法人向け弁当配達大手のスターフェスティバル (東京・渋谷) は、国連が環境や労働など 17 のテーマで掲げた「持続可能な開発目標 (SDGs)」にちなんで弁当を販売する。飼育環境などにこだわった素材を使うとともに、容器なども厳選したのが特徴。社会問題への関心が高いオフィスビルや企業などによる採用を見込む。

スターフェスは新ブランド「素材 Lab (ラボ)。」を立ち上げた。容器には焼却処分されても二酸化炭素 (CO₂) を削減する効果のある素材を使っており、一般的な容器よりもプラスチック使用料を 6 割減らしている。生産を確実に売場が見込める量に抑えることで、食品ロスの削減にもつなげる。食材の品質や安全性、おいしさをアピールし、これまで百貨店などで弁当を購入していた会社員などの需要を取り込む。

